

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ユマニテク看護助産専門学校
設置者名	学校法人 みえ大橋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	10	9	
	助産専攻科	夜・通信	11	3	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局に備え付け、希望者は閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ユマニテク看護助産専門学校
設置者名	学校法人 みえ大橋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2022年6月 1日～2026 年5月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社役員	2022年6月 1日～2026 年5月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ユマニテク看護助産専門学校
設置者名	学校法人みえ大橋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校は職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、企業等と連携して、実務に関する知識、技術について組織的な教育を行い、授業計画に反映させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 各授業科目担当者に保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン、保健師助産師看護師法施行規則に示された教育内容・教育目標・授業時間数を提示し、各授業科目担当者が各法施行規則等に準じた到達目標を掲げ、使用教材を基に到達目標にむけて授業時間数に応じた授業内容を計画する。 ・授業計画の作成・公表時期 作成時期 … 1～3月 公表時期 … 4月 	
授業計画書の公表方法	ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1年間の授業は前期・後期の2期に分かれて行い、前期・後期で全科目の試験を実施し、各科目で学修成果に基づき、下記の内容で100点満点の点数で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目 看護の基礎技術を臨地実習にて、その他出席率、実習態度も加味し、実習指導者の総評も共有の上、反映して総合的に評価。 ・講義科目 筆記試験にて、その他出席率、授業態度も加味し評価。 <p>成績は全科目下記の5段階評価とし、59点以下は不認定とする。 A (100～90) B (89～80) C (79～70) D (69～60) E (59～不認定)</p> <p>年度末に卒業・進級判定会議を行い、卒業・進級認定条件に基づき、履修を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>平均点による指標を設定 全科目を100点満点で点数化し、各学生の全科目の平均点を求める。 その結果から各学科、各学年で下記の指標の数値における成績分布を示し、下位1/4に該当する人数と下位1/4に該当する指標の数値を示す。 【成績分布を示す指標の数値】 ~59点、60~69点、70~79点、80~89点、90~100点</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>入学時に教育方針、教育目標、アドミッションポリシー、卒業認定方針を文書で学生に配布し、周知している。</p> <p>設定した全ての科目を履修・修得したものに卒業を認定し、専門士を授与している。卒業認定は卒業判定会議にて下記事項について、全て満たしているかを審議し、判定する。</p> <p>①各科目、規定時間の3分の2以上を出席している ②各科目、成績評価基準に達している 各学年で履修すべき科目の試験を実施し、各科目における知識や技術の習得度を測り、60点以上の成績を修める。 ③学費納入が完了している</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ユマニテク看護助産専門学校
設置者名	学校法人みえ大橋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)
収支計算書又は損益計算書	ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)
財産目録	ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)
事業報告書	事務局に備え付け、希望者は閲覧可能
監事による監査報告（書）	ホームページ (https://www.humanitec-nmc.jp/)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104(98)単位 ()内は旧カリキュラム	81 (75) 単位	講義単位 数に含む	23 (23) 単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		220人	0人	15人	67人	82人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校は職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、企業等と連携して、実務に関する知識、技術について組織的な教育を行い、授業計画に反映させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成過程 各授業科目担当者に保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン、保健師助産師看護師法施行規則に示された教育内容・教育目標・授業時間数を提示し、各授業科目担当者が各法施行規則等に準じた到達目標を掲げ、使用教材を基に到達目標にむけて授業時間数に応じた授業内容を計画する。 ・授業計画の作成・公表時期 作成時期 … 1～3月 公表時期 … 4月
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>平均点による指標を設定 全科目を100点満点で点数化し、各学生の全科目の平均点を求める。</p>

その結果から各学科、各学年で下記の指標の数値における成績分布を示し、 下位 1/4 に該当する人数と下位 1/4 に該当する指標の数値を示す。 【成績分布を示す指標の数値】 ～59 点、60～69 点、70～79 点、80～89 点、90～100 点
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、卒業認定方針を以下のように定めている。 入学時に教育方針、教育目標、アドミッションポリシー、卒業認定方針を文書で学生に配布し、周知している。 設定した全ての科目を履修・修得したものに卒業を認定し、専門士を授与している。卒業認定は卒業判定会議にて下記事項について、全て満たしているかを審議し、判定する。 ①各科目、規定時間の 3 分の 2 以上を出席している ②各科目、成績評価基準に達している 各学年で履修すべき科目の試験を実施し、各科目における知識や技術の習得度を測り、60 点以上の成績を修める。 ③学費納入が完了している
学修支援等
(概要) 学生保険制度 各種奨学金制度

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
75 人 (100%)	5 人 (6.6%)	58 人 (73.3%)	12 人 (16%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 病院奨学金制度を設定しており、学生が就職を希望する関係病院との連絡（病院見学の連絡、就職試験の連絡）等を行い、就職先が決定するまで指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
238 人	10 人	4.2%

(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者への連絡、スクールカウンセラー制度

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	助産専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	35 単位	24 単位	講義単位 数に含む	11 単位		
			35 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		30 人	0 人	6 人	17 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
<p>本校は職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、企業等と連携して、実務に関する知識、技術について組織的な教育を行い、授業計画に反映させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成過程 各授業科目担当者に保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン、保健師助産師看護師法施行規則に示された教育内容・教育目標・授業時間数を提示し、各授業科目担当者が各法施行規則等に準じた到達目標を掲げ、使用教材を基に到達目標にむけて授業時間数に応じた授業内容を計画する。 ・授業計画の作成・公表時期 作成時期 … 1～3 月 公表時期 … 4 月
成績評価の基準・方法
（概要）
<p>平均点による指標を設定 全科目を 100 点満点で点数化し、各学生の全科目の平均点を求める。 その結果から各学科、各学年で下記の指標の数値における成績分布を示し、下位 1/4 に該当する人数と下位 1/4 に該当する指標の数値を示す。 【成績分布を示す指標の数値】 ～59 点、60～69 点、70～79 点、80～89 点、90～100 点</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校では、卒業認定方針を以下のように定めている。</p> <p>入学時に教育方針、教育目標、アドミッションポリシー、卒業認定方針を文書で学生に配布し、周知している。</p> <p>設定した全ての科目を履修・修得したものに卒業を認定。 卒業認定は卒業判定会議にて下記事項について、全て満たしているかを審議し、判定する。</p> <p>①各科目、規定時間の3分の2以上を出席している ②各科目、成績評価基準に達している 各学年で履修すべき科目の試験を実施し、各科目における知識や技術の習得度を測り、60点以上の成績を修める。 ③学費納入が完了している</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>学生保険制度 各種奨学金制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (%)	23人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック			
(就職指導内容) 学生主体の就職活動を行い、三重県修学資金の利用者については対象病院の紹介を実施。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 助産師国家試験受験資格 受胎調節実地指導員申請資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	5人	16.7%

<p>(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更</p>
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者への連絡、スクールカウンセラー制度</p>

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	300,000 円	590,000 円	300,000 円	
助産専攻科	250,000 円	1,000,000 円	650,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.humanitec-nmc.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育目標と学校運営の方針等を明らし、それに照らして日々の活動の適切性について学校評価・自己評価を行っている。主な評価項目は、教育活動、学習成果、財務、法令等の遵守等。自己評価項目に対して、業界関係者・関係施設役職員等による学校関係者評価委員会を開催し、学校評価を実施し、公表している。また委員会開催後、学校長指示の基、評価結果を踏まえた改善方策を速やかに実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体	2023年10月1日～2024年3月31日	企業等役員
病院	2023年10月1日～2024年3月31日	看護部長
卒業生	2023年10月1日～2024年3月31日	看護師
教育関係	2023年10月1日～2024年3月31日	校長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.humanitec-nmc.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.humanitec-nmc.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H124320285084
学校名 (〇〇大学 等)	ユマニテク看護助産専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人みえ大橋学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		19人	16人	35人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	13人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。